

給与支払報告書(記入例)

①

※ 種別										※ 整理番号													
※ 区分										受給者番号													
② 住所 和光市広沢〇ー×										③ 個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2													
② 氏名 (フリガナ) ワコウ タロウ										氏名 和光 太郎													
種別	支払金額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)				所得控除の額の合計額			源泉徴収税額													
給料・賞与	6	847	500	5	062	750	3	149	846	97	600												
④ (源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)				障害者の数		※居住者である親族の数													
有 従有		老人		特定		老人		その他		特別													
○		380		000		1		1		5													
社会保険料等の金額		⑤ 生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		⑥ 住宅借入金等特別控除の額																	
909		846		120		000		50 000															
(摘要) 普F ⑦ 前職分 埼玉県さいたま市浦和区高砂〇ー△△株式会社××商事 令和5年3月31日退職 支払金額975,000円 社会保険料 126,945円 徴収税額31,140円 (1)和光雪子(年少)																							
⑤ 生命保険料の金額の内訳		新生命保険料の金額		180,000		旧生命保険料の金額		100,000		介護医療保険料の金額		90,000		新個人年金保険料の金額		360,000		旧個人年金保険料の金額		180,000			
⑥ 住宅借入金等特別控除の内訳		住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日(1回目)		住宅借入金等特別控除可能額		居住開始年月日(2回目)		住宅借入金等特別控除区分(1回目)		住宅借入金等年末残高(1回目)		住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)							
④ (源泉)特別控除対象配偶者		フリガナ ワコウ サツキ		氏名 和光 さつき		個人番号 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		基礎控除の額		旧長期損害保険料等の金額		所得金額調整控除の額		19,600					
④ 控除対象扶養親族		フリガナ ワコウ イチロウ		氏名 和光 一郎		個人番号 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4		1 6歳未満の扶養親族		フリガナ ワコウ ジロウ		氏名 和光 次郎		個人番号 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5		5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号		⑦ (1) 8910123456789					
		フリガナ ワコウ ミツ		氏名 和光 ミツ		個人番号		2		フリガナ ワコウ サブロウ		氏名 和光 三郎		個人番号 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6		5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号							
		フリガナ ワコウ ハナコ		氏名 和光 花子		個人番号		3		フリガナ ワコウ ハナコ		氏名 和光 花子		個人番号 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7									
		フリガナ ワコウ ツキコ		氏名 和光 月子		個人番号		4		フリガナ ワコウ ツキコ		氏名 和光 月子		個人番号 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8									
(市区町村提出用)		中途就・退職		② 受給者生年月日		就職		退職		年		月		日		元号		年		月		日	
		○		○		5		12		31		43		1		×							
⑧ 支払者		個人番号又は法人番号		9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8 7		住所(居所)又は所在地		和光市広沢△ー〇		氏名又は名称		株式会社 ○〇産業		(電話) 048-464-××××									

- 令和5年1月～12月までの給与支払報告書については、「⑥」とご記載ください。
- 「氏名(フリガナ)」「住所」「受給者生年月日」は、個人を特定する上で不可欠ですので、必ずご記載ください。
- 本人、扶養親族ともに、「個人番号(マイナンバー)」をご記載ください。
- 「控除対象配偶者」と「控除対象扶養親族」については、上段の枠内に「控除対象配偶者の有無」、「配偶者(特別)控除の額」、「扶養親族の数」、「扶養親族のうち障害者に該当する人数」等をご記載ください。あわせて、下段に「控除対象配偶者」や「控除対象扶養親族」の氏名と個人番号を必ずご記載ください。
- 「生命保険料の控除額」には、計算後の生命保険料控除額をご記載ください(支払額ではありません)。「生命保険料の金額の内訳」には、生命保険料の控除額を計算するための生命保険料の支払額を保険の種類ごとにご記載ください。
- 「住宅借入金等特別控除の額」については、所得税の計算上において、所得税を控除した額をご記載ください。「住宅借入金等特別控除の額の内訳」については、控除を計算するための「住宅借入金等特別控除適用数」、「居住開始年月日」、「控除区分」、「年末残高」の全てについて漏れなくご記載ください。
- (摘要)欄について
 - 普通徴収に該当する場合、「普通徴収切替理由書」をご覧いただき、切替理由の略号(普A・普B等)をご記載ください。
 - 前職分の給与を合算して年末調整をした場合、前職分の『所在地、名称等』、『支払金額』、『社会保険料』、『徴収税額』をご記載ください。
※記入のない場合、他の個人別明細書支払金額と合算して計算します。
 - 給報の訂正、再提出、租税条約適用等の連絡事項がある場合にはご記載ください。
 - 同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く)が障害者、特別障害者又は同居特別障害者に該当する場合、当該同一生計配偶者の氏名及びその方が同一生計配偶者である旨をご記載ください。
例) 氏名(同配)
 - 控除対象扶養親族が5人以上いる場合、「摘要」欄において氏名の前に括弧書きの数字を付し、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」又は「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」欄に、5人目以降の扶養親族の個人番号をご記載ください。この場合、個人番号の前に、「摘要」の欄に記載した氏名との対応関係が分かるように括弧書きの数字を付してください。
- 退職所得のある配偶者又は扶養親族の氏名等の記載については、次ページをご覧ください。
- 支払をする方の個人番号または法人番号を記載してください。

◆退職所得のある配偶者又は扶養親族の氏名等の記載について

○令和5年中に退職所得（源泉徴収されたものに限る。以下同じ。）を有する配偶者（合計所得金額（地方税法第23条第1項第13号及び第292条第1項第13号に規定する合計所得金額をいう。以下同じ。）が133万円以下であるものに限る。）・扶養親族がいる場合

①（摘要）欄に、括弧書きの数字を付した上で、次の事項についてご記載ください。

- ・氏名 ※氏名の前に必ず（退）を付けてください。
- ・配偶者又は扶養親族である場合はその旨
- ・生年月日
- ・住所
- ・障害者又は特別障害者である場合はその旨
- ・国外に居住する非居住者である場合はその旨
- ・令和5年分の退職所得を除いた合計所得金額の見積額
- ・納税者が寡婦又はひとり親である場合はその旨

②5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号欄に『個人番号』をご記載ください。このとき、個人番号の前に、上記①で記載した括弧書きの数字と同じ括弧書きの数字を付してください。